

20世紀前葉におけるタイ国華字新聞に見る中国商品の広告

著者	王 竹敏
雑誌名	東アジア文化交渉研究 = Journal of East Asian cultural interaction studies
巻	7
ページ	463-476
発行年	2014-03-31
その他のタイトル	The Chinese Commodity Advertisement of Thailand in the First Part of the 20th Century
URL	http://hdl.handle.net/10112/8265

20世紀前葉におけるタイ国華字新聞に見る 中国商品の広告

王 竹 敏

The Chinese Commodity Advertisement of Thailand in the First Part of the 20th Century

WANG Zhumin

Until 1900, there are 608 thousands of Chinese people living in Thailand. During the late Qing Dynasty and early Republican Periods, there were many kinds of Chinese newspapers had published in Thailand. These newspapers were born by Chinese intellectual. They accepted Liberal Democratic from oversea, and undisguised advocacy of revolution. The Chinese newspaper printed the information about Chinese society in business, economics and school. This paper researches on the form and content of the Chinese commodity advertisement to learn about the condition of the Chinese business activities during the period.

キーワード： 20世紀前葉 タイ国 華字新聞 中国商品 広告

一、はじめに

中国沿海部の広東省の潮州は古くから海外への移民の習慣があり、「海があるところは、華僑の足跡がある」ように象徴的に語られてきた¹⁾。特に、17世紀から20世紀初まで潮州人の多くが移民した国がタイ国であった。そのタイ国では1890年頃に総人口732万人に対し、タイ国に居住していた華人は約60.8万人であった²⁾。その後も、華人人口の増加につれ、1917年には約90.6万人の華人がタイに定住していた。華人の比率はタイ国総人口923.2万人に対し、9.8%であった³⁾。タイ国の華人華僑は各時期、各分野において貢献し、時代の変遷につれ発展し、華人人口の増加にともない華人社会も益々発展していた。

海外華人社会の重要な支柱に商業活動があり、艱難辛苦による創業過程を経験している。彼等の商業活動の一部分に広告活動があり、華商の貿易業の動向に関する貴重な資料と考えられる。華人が経営し

1) 朱傑勤「近代東南亞華僑」、『華僑史』、廣西師範大學出版社、2011年、95-191頁。

2) GW. Skinner: *Chinese Society in Thailand: An Analytical History*, Cornell University Press, 1957, 60-61頁。

3) *Ibid.* 60-61頁。

た工業の発展にともない、バンコクで泰華進出口商会、華僑銀信局会、泰国中華総商会などが漸次誕生した⁴⁾。これらの商会は主に福建や広東地方の華商によって香港や上海の貿易商会と合作し、中国産品をタイ国へもたらした。輸入品の中にはヨーロッパ産の酒類、タバコ類があったが、香港産・上海産の商品は80%以上を占めていた。このように在タイ国華商の商業活動が活発化すると、欧米商品・欧米洋行の独占地位は崩壊した。時代の趨勢により華商商会は何度も改名するのみならず、華商の団結と中泰の貿易交流の促進を堅持し、中泰関係の発展につれ、重要な地位を占めたのである⁵⁾。

20世紀初期におけるタイ国での中国商品広告の情報源としての華字新聞は、タイ国華商の商品販売、宣伝、貿易を促進するなどの積極的な貢献をした。これら華字新聞の特徴は、言論の伝播であり、タイ国に住んでいる華人とシンガポールから渡来した中国人革命派によって創刊された。彼らは自由民主の意識を受容し中国の革命を宣伝した。清末から民国初年においてタイ国の華人社会には多くの種類の華字新聞が出版された。さらに、最初の華字新聞は、主に中国の政治情勢を中心に報道した。その後、康有為などの保皇派も南洋で新聞を創立し、革命派の新聞と対立していた⁶⁾。このようにタイ国の初期の華字新聞は、中国に関する政治思想闘争の舞台となった⁷⁾。その後、華字新聞は華人社会の商業経済、学校教育などの情報を掲載し、中国全国のみならず福建・広東の情報を重視し、大量の中国商品の広告も掲載していた。

そこで、本論文はタイ国国立図書館に保存されている1925-1935年にタイ国で刊行された華字新聞すなわち中国語新聞に注目し、それらに掲載された約500例の中国商品の広告を中心に検討するものである。そのため広告の商品主・広告内容、広告戦略、広告特徴など、さらに当時タイ国において中国商品の販売状況、居住中国人の消費習慣及び中国商品広告の特徴などを明らかにするものである。

二、タイ国における中国商品の販売

タイ国と中国との朝貢貿易は明代に遡る。明洪武四年（1371）に、タイ国の先祖とも言うべき暹羅国は中国に朝貢品をもたらした。その後に暹羅国が清朝に朝貢した最初は順治九年（1652）のことであった。暹羅国は朝貢の利便を利用し中国と貿易していた⁸⁾。

19世紀末期において中国が対外開放を進める過程で、中国とタイ国との民間経済は大きく変化した。1911年12月12日に上海で中国国貨維持会が成立すると、タイ国に居住している華商らもバンコクで華僑商会、暹京中華総商会などを成立させた。タイ国の華商らは中国国貨維持会と合作し、中国商品をタイ国に輸入して販売した。

1920年11月16日付の『申報』に、「國貨維持會歡迎暹羅華僑紀」が掲載されている。

4) 洪林「泰國華校史補充材料」、『泰國華僑華人研究』、香港社會科學出版社、589-623頁。

5) 張映秋『泰國華人社團模式的演變』、『潮學研究』3、汕頭大學出版社、1995年3月、171-190頁。

6) 洪林「泰國華人報簡史」、『泰國華僑華人研究』、香港社會科學出版社、2007年9月、643-677頁。

7) 洪林「泰國華人報簡史」、『泰國華僑華人研究』、香港社會科學出版社、2007年9月、643-677頁。

8) 王竹敏「清代中国に來航した暹羅国朝貢使節の待遇について」、『東アジア文化交渉研究』第6号、2013年3月、541-554頁。

中華國貨維持會昨日下午二時、在九畝地高墩路該會會所開會、歡迎暹羅華僑商會代表蔣忠杰、暹羅採辦國貨公司經理陳欣木兩君、來賓甚衆、由該會副會長王介安君主席致歡迎詞、次陳欣木君演說發展國外貿易之重要、暹京中華總商會代表蔡俊卿君演說國貨與國家之關係、華僑聯各會前總董許冀公君報告赴暹接洽情形、爪哇三寶壟華僑代表唐伯瑚·望加錫華僑代表王蔭喬·華僑學生會會長謝碧田君等相繼演說、沈卓吾君復代表小呂宋華僑李清泉戴正中二君演說請各工廠贈各處華僑代表以貨樣末由馬樹周君演說主席致謝詞四時散會聞今日（十六）上午九時、由沈卓吾君陪蔣君等參觀厚生紗 晚六時由各工廠公請在馬玉山公司會餐云。⁹⁾

1920年11月15日、中華國貨維持會は、上海にタイ国の華僑代表、暹羅採辦國貨公司、暹京中華總商會代表などを招待した。タイ国の華商らは中国商品をタイ国へ輸出するために上海に渡来した。さらに、タイ国の華商は中国商品が順調的にタイ国市場へ流入するため、タイ国で「国貨標本館」を設置し、中国商品の展覽場所を建造したのであった。1922年2月11日付の『申報』に、「提倡國貨之銷路南洋游歷團之發起」によって、

暹羅駐滬採辦國貨公司許冀公演說略謂暹羅僑民有四百餘萬需用國貨爲數必巨新得若干同志共謀傳播國貨并設立國貨標本陳列所以引起僑民觀感現在陳列標本已有八百餘種¹⁰⁾

とあるように、タイ国に暹羅採辦國貨会社が設置された。国貨標本館は約800以上の種類の中国商品を陳列した。この国貨標本館はタイ国に滞在する華僑に人気があった。

上海に来て中国商品を調査したのは、在タイ国の中華商会のような華商団体のみならず、個人の華商もあった。1927年3月18日付の『申報』によれば、

各公司歡送華僑陳河清君返暹、暹羅僑商陳河清君去年冬由暹來滬調查國貨、並接洽推銷暹羅俾旅外僑胞易於採購、現已竣事、定期本月十九日、偕同神州影片公司鄭應時君、取道回汕返暹。¹¹⁾

とあるように、タイ国に居住する華商陳河清は、1926年の冬に上海へ渡来し中国商品を考察し、約半年後に商品の取引を行い帰国した。

それでは、タイ国の暹羅中國總商會はどのように中国商品を収集し、タイ国の華商に紹介したかについて検討したい。『申報』1929年、1930年の記事から見てみることにする。

1929年9月12日

暹羅中國總商會從集國貨陳列品託上海機聯會通告上海國貨各工廠，如欲推銷出品於國外者，可將陳

9) 『申報』第18401号、『申報』第132冊、上海書店影印、1983年10月、347頁。

10) 『申報』第18402号、『申報』第132冊、367頁。

11) 『申報』第19401号、『申報』第232冊、上海書店影印、1983年10月、367頁。

列品逕寄暹羅該商會云。¹²⁾

1929年9月30日

暹羅華僑將開國貨展覽會 代表林中川現已抵滬

暹羅華僑、號稱二百餘萬、倘以血統關係者算、當佔暹羅國民之半、然中暹間向無國交、無公使領事以資保護、專賴中華總商會為聯絡機關、現該地華商、深感欲圖救國、當以推銷國貨為要着、故擬於本年十二月初、新會所正式開幕時、舉行國貨展覽會、特派林君中川返國、徵求國貨、林君曾先向香港廣州二商會接洽、結果極為完滿、聞廣州總商會擬以現陳列於西湖博覽會之貨品、轉運赴暹展覽云、林君已由香港乘法郵抵滬、寓大東酒店、昨曾向本埠商會常委王曉籟先生有一度接洽、甚稱滿意、但林君以西湖博覽會開幕之期已近、故擬一日先赴杭一行、後再返滬、向各企業家接洽、林君係中暹貿易有限公司司理、此行兼有採辦國貨之任務、且國內商家、如在暹未有代理者、所付貨品、可由該公司負責陳列展覽、而於展覽後、仍可由該公司代為推銷云、中華琺瑯等之搪磁、立成、民興、新大陸、替天、粹成、等綢傘紙傘花蓆等、各種出品、備受該處僑胞歡迎、必能逐漸暢銷、現由陳列所分函各廠家、檢選出品送交該所、俾彙轉暹羅云。¹³⁾

1929年11月15日

暹羅徵求國貨樣品

暹羅中華國貨陳列館、迭次函致本埠商品陳列所略稱、該館以介紹國貨於暹地、俾達逐漸發展為目的、茲聞該館函到、將各廠號及出品開單指明、託由商會商品陳列所、代徵各種國貨樣品、運往陳列作樣、藉廣推銷、遇有要件、如需價款、自能按價匯奉云云、廠號名單、如三友實業社、中國內衣廠、三星廠、光華廠、一新廠、信大廠、申新公司、鴻裕公司、厚生、三新、三益、永安、公利、求精、震康、月華、元通、振華、新太、五和、益美、廣益、三民、宜彰、華茂、中國第一毛絨等之布疋毛巾十字布印花布紡洋布帆布等、三發、泰華、久和、光華、美倫、三聯、進步、大東、東方、鴻興、聯璧等之札帶絲襪線襪等、天孫、王義豐、錦成、裕和、悅來、等之綢緞、自求、醒心、通運中國海球等之鈕扣、鑄豐、益豐。¹⁴⁾

1930年9月9日

暹羅國貨陳列所徵品

市商會昨接暹羅中華總商會函、為提倡並介紹國貨起見、特於會所旁邊、附建國貨陳列所、現在建築業經完成、並擬定簡章、廣行徵集海內外國貨出品、為長期之陳列展覽、藉備僑眾參觀研究特函送徵集簡章、出品說明書等、囑為轉政各國貨廠家、檢寄貨樣多種、寄交該國貨陳列所陳列、以期推廣銷路云云、聞市商會已交付提倡國貨委員會討論辦法矣。¹⁵⁾

以上のように、1929-30年頃においてタイ国に居住している華僑と後裔は約200万人にのぼった。これ

12) 『申報』第20286号、『申報』第262冊、上海書店影印、1984年7月、335頁。

13) 『申報』第20304号、『申報』第262冊、上海書店影印、1984年7月、881頁。

14) 『申報』第20349号、『申報』第264冊、上海書店影印、1984年8月、389頁。

15) 『申報』第20626号、『申報』第274冊、上海書店影印、1984年9月、221頁。

らの華商は「深感欲圖救國、當以推銷國貨爲要着」（1929年9月30日付『申報』）のため、中国商品をタイ国へ輸出したいと考えた。さらにタイ国に在住する華人人口が多く、中国商品の市場が拡大すると考えた。そのため1929年9月に、上海機聯会は暹羅中國總商會から依頼され、上海の工場に「暹羅へ販売したいものがあれば、暹羅中國總商會へ郵送する」と通知した。1929年11月、多くの中国工場では各社産の商品を暹羅國貨陳列館へ郵送した。衣料類のみでも、45社以上の工場から商品が集まった。1930年9月9日、暹羅國貨陳列館の建物が完成したため、再び中国国内で中国産の商品を募集したのである。

暹羅國貨陳列館が竣工した二年後の1932年12月23日付の『申報』によって、タイ国国内の中国商品の販売状況が知られる。

暹羅華商注意推銷國貨 請減國貨售價以廣銷路 徵求國貨商標俾便辨別

市商會昨接暹羅中華總商會函云、逕啓者、頃據本會會員同泰昌號東陳河清函稱、近來暹羅市場、日貨銷路激增、尤以棉紗爲最、國貨幾無人過問、查由國貨價格太高所致、爲挽回利權推銷國貨起見、應請轉達滬商、將價格減低、俾易競售、等由前來准此、查國貨銷路不暢、固由於定價太昂、同時僑胞對國貨日貨不易識別、不免任意購買、致令日貨銷路日增爲此應請貴會轉達各商家推銷海外貨物、務祈價格低廉、俾易競賣、並請代爲分別查購國貨及日貨商標一覽、指示僑胞、以便辨別等云、該會以暹羅華僑注意推銷國貨、昨已將來函分函本市綢緞・棉絨・麵粉・洋燭・草呢帽・化妝品・針織・呢絨工廠電機絲絨・皂業・捲烟廠・橡膠製品・陽傘業・等公會、剴切勸導同業、務將售價設法低減、以便競銷、一百徵求同業商標裝訂成本、以便轉寄辨認。¹⁶⁾

当時のタイ国市場は中国の商品のみならず、日本産商品も大きく進出していた。暹羅中華總商會は、上海市商会にタイ国の中国商品の販売状況に関する意見を提示した。それは、第一には中国商品の販売価格を廉価にすること。第二には、中国産ということを商品の上に強調して「国貨」を全面に表示して消費者を引き付けることであった。

三、タイ国における中国商品の広告

1920-1930年の間に、中国の政治状況は相対的に安定していた。他方タイ国の華字新聞はおおよそ28種類が出版された。当時の中国語新聞は多数が創立後に短期間で停刊されたものも多かった。新聞は毎部10「士丹」（1パーツ=100士丹）で、タイの貨幣で毎月2から3パーツ（銖）であった。当時の華工の多くは教育水準が低く、月給が10パーツに達しなかった。¹⁷⁾ そのため当時の華字新聞の読者は、主に中国商人および華人学校の関係者などの知識人であった。彼らはタイ国に住んでいたが、中国の政情に関心が高く、さらにタイ国へ輸入される中国の上海また香港において流行する贅沢品にも強い関心を示した。このためタイ国に輸入された品々は、直ちにタイ国の富裕華人層に受け入れられたのであった。

16) 『申報』第21450号、『申報』第299冊、上海書店影印、上海市印刷七場、1984年12月、627頁。

17) 李道緝『清末民初潮州人移殖暹羅之研究』、國立政治大學曆史研究部碩士論文、1990年。

華字新聞は、華人経済の発展を促進し、中国とタイ華人の距離を縮め、華人社会における重要な知識の情報源となった。さらに華人社会において重要な情報伝達手段としての華字新聞は、自然的に中国商品の宣伝の舞台になったと考えられる。

華字新聞に掲載された商品広告は、主にタバコ類、薬酒類、漢方類であり、そのほかに少量の布、靴、生活用品類などがあつた。

そこで次にタイ国が輸入した中国商品の状況や商品の種類や産地について述べたい。

(一) 中国商品の産地

1920-1925年の間にタイ国において影響力があつた華字新聞に『中華民報』、『国民日報』、『晨鍾日報』、『聯僑報』があり、それらに掲載された商品は632例にのぼる。その広告は、中国商品が477例、タイ国の商品が75例、ヨーロッパ商品が80例に分けられる。

図1に示したように上海産の商品は商品総数の39.8%を占め、香港産の商品は35.6%、タイ国の商品は12%、ヨーロッパの舶来品は11.6%であつた。上述のようにタイ華商は香港・上海の商会と合作し、香港・上海において流行している商品をタイ国へ齎した。これらの商品は当地の華商やその家族の間で流行したのみならず、ヨーロッパの舶来品の独占的地位も奪取した¹⁸⁾。

華字新聞に掲載された中国商品の広告から中国商品がタイ国市場においてどのように消費されたかは明らかではないが、華人の富裕層の消費を満足させたと考えられる。

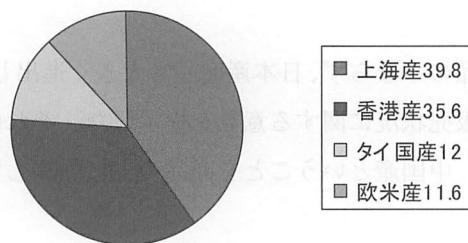


図1 1920-1925年タイ国輸入品国別表

(二) 商品種類

中国商品に関する477例の広告をしてみるに、当時タイ国で販売された中国商品は主にタバコ類、漢方薬類、化粧品類、日常用品類に分けられる。さらに日常用品類には服・帽子・花露水・靴・掃除用品・雨服などが含まれていた。

図2から明らかなように、タイ国へ輸入された中国製品は、主に軽工業製品であり、タバコ類と漢方薬類が大きな比重を占めている。

タイ国において販売されたタバコ類は、主に中国の南洋兄弟烟草会社の代理販売であり、烟草は基本的に上海から船でタイ国へ齎された。南洋兄弟烟草会社は、香港で誕生したが上海で台頭した。さらに、中国国内外において厳しい経済環境中に、海外の華人華僑の支持と中国国内の国貨運動中に発展し、当

18) 呉雲龍『14-19世紀暹羅華人的經貿發展研究』、臺灣成功人學歷史研究所碩士論文、2002年。

時において英米烟草会社と対抗できる唯一の民族烟草会社であった¹⁹⁾。新聞広告からタイ国で販売されたタバコの種類は10余のブランドがあった。

漢方薬は中国の伝統的な特有の薬物として相当的な地位を占め、華人の病気治療や平日の保健にも伝統的な薬酒が愛用されていた。

化粧品はタイ国に居住していた華人の貴婦人等が、上海・香港の貴婦人等が使っていた化粧品に強い関心を示し、衣服や生活商品なども同時に上海・香港の潮流に注目していた。

このように中国商品を愛用した理由は華人家族の生活習慣による影響のみならず、愛国感情なども反映していたと考えられる。

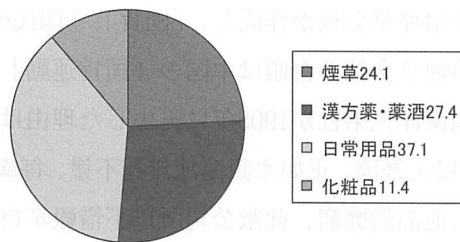


図2 1920-1925年タイ国輸入商品別表

(三) 広告特徴

広告戦略は広告主の販売成績に直接的に影響するため華商はどのように自社商品を販売し、どのように華人らの注目を引くように工夫したのであろうか。当時に使われた広告用語は時代の特徴を反映し、現在の広告用語と鮮明的に対峙している。当時の広告例の特徴は二つに分かれるであろう。

(1) 「愛国」の広告語

当時の中国商品は「愛国」を標榜する広告語を多用した。タイ国で販売された煙草には、「愛国」・「革命」・「興国」が使われ、たとえば「偉人香煙」・「興国香煙」・「総統牌香煙」などがあった。煙草広告には、「同胞愛国、請吸國煙」・「孫大總統為中華真正總統、總統牌煙為中華國産名煙」のような広告語が好まれた。読者に対して「愛国」の煙草を買うようにと提唱した。これらの広告語は「愛国」・「国貨」などの文字に通じて、買主の注目を引き寄せ、客を招きよせたのであろう。さらに、これらの広告語は当時の海外華人の愛国思想と中華民国に対する支持の願望を示したと考えられる。

①1924年3月に『暹京日報』に掲載された「安樂汽水」の広告によると、

注意 飲中国安樂各色汽水。氣味醇芳。衛生適合。有益健康。賜名祖國。並及南洋。特訂本號。代理暹江。價廉物美。國貨之良。僑界諸君。愛國為常。人人購飲。沁心清涼。挽回國利。永遠無疆

とあるように、安樂汽水是香港の九龍で生産され、「水房」「汽水房」と呼ばれた。初期の安樂汽水是「安

19) 段立生『泰國中華總商會簡史』、『中國與東南亞交流論集』、泰國大通出版有限公司、2001年。

樂堂」と呼ばれ、貿易の拡大につれ、1934年正式的に香港で工場を開設し、「安樂汽水場」と改名された。この「安樂汽水」は健康になる飲物と言われた。さらに広告は「挽回国利」すなわちこの中国商品を「買えば中国に有益である」と伝えた。

②1925年11月に『国民日報』に「百雀」の広告が掲載された。

注意、国貨与人格——漏卮。君购一份国貨，即为国家减少一份外溢之漏卮，保存一份国民之人格，幸勿以細，故而忽之明乎。此者请吸白雀香烟。快塞漏卮，救我中国。顶上国貨。白雀香烟。中国南洋兄弟烟草公司謹啓。

この広告は、有名な中国南洋兄弟煙草会社が作成し、「国貨」、「国民の人格」「中国」等の愛国特徴などの語彙を使った。中国南洋兄弟煙草会社の台頭は中国の「国貨運動」と深く関係があった。1917年5月3日の『申報』によれば、中国南洋兄弟社が1905年に誕生した理由は「君論誠然敝公司早諗香烟係無益於民之品、顧見十年以來、外煙侵入吾國、正如水銀瀉地無孔不鑽、每歲流出金錢計七八千萬金之鉅、既不能禁吾民之不吸、而遽令利權坐逝滔滔靡窮、此敝公司所以不惜艱辛自行設廠屢蹶、唯一最大之宗旨在挽回外溢之利權、也倘使外煙不侵入人民」²⁰⁾と記載され、海外から輸入された煙草品が中国では毎年の売上が7,000万両以上であったが、しかし当時の煙草会社はほとんど英米の会社であった。南洋兄弟煙草会社は流出した売り上げを止めるために、自国の煙草工場を開設したと言われた。南洋兄弟煙草会社の広告は、他の中国商品の広告と違い、中国での広告もタイ国の広告もすべて煙草を紹介せず、「国貨」のみを強調している。

③1926年12月16日付の『中華日報』に「絲袜」・「皮箱」・「記念表」が掲載されている。

紅菊標絲光線襪

海中華第一針織廠（資本一千萬）為亞洲最大織襪廠。所出紅菊標絲光線襪係用最新式電機織成，針線勻密寬緊適宜。襪根堅固耐穿，雙層線口，永不散線。染色一部由留德染色專家主任，故能鮮豔光亮，經久不退，定價低廉，批發尤為公道。南洋群島現歸本公司獨家代理，暹京各大洋雜貨店均有經售。

上海真皮皮箱

本公司皮箱工廠之出品，俱係選擇精緻牛皮制造。用新式電機縫釘。堅固耐用曆久不壞，式樣優美精緻絕倫，較之紙皮及馬皮所制之家夥，勝過百倍。備有大幫現貨，軟蓋皮箱，適十八寸起至三十二寸止，硬蓋自十寸起至二十八寸止，尺寸大小任憑選擇。

孫公中山紀念表

此表機器精良，形式雅致，走時準確耐用非常。實為紀念國父之傑品，發揚民治之利器。每只定價五銖，特價三銖五十丁。各大鐘表店及洋貨店均有出售。上海中南貿易公司 上海分公司。

20) 『申報』第15881号、『申報』第146冊、上海書店影印、1983年2月、35頁。

上海中南貿易公司に関することは管見の限り不明であるが、広告の内容から見ると、この会社は上海に集荷される中国産品の販売を代理し、タイ国へ輸出させたのである。商品には上海中華第一針織廠すなわち制服工場の靴下や上海の本革靴や当時流行していた孫中山ブランドの腕時計などが含まれていた。

④1927年1月5日付の『中華民報』に「先施花露水」の広告が掲載された。

芬芳馥鬱有益衛生，先施花露水，先施生發油。愛國諸君請為一試。暹羅埠總代理泰生源號。香港先施化妝品有限公司謹啟。

先施公司是、1911年に広州に誕生し最盛期には化粧品を含め、10社ぐらいの工場があった。その後、時局の変動によって、化粧品以外の工場は次々に閉場された。当時に、香港で販売していた化粧品は、主にヨーロッパ産であり、値段が高価で、香港の上流社会のみで流通していた。それに対して、先施会社の化粧品は、表面の贅沢ではなく実用の性能のみ注目されていた。さらに、先施公司是南洋へ進出し、「志在挽回外溢利權，与振興中華国産」の愛國標語で、速やかに人気を獲得した。

⑤1927年3月1日付の『国民日報』に広告「新愛國香烟」が見られる。

國家，吾人所應愛也。國貨，尤須愛護也。今此香烟以愛國名，固欲藉此引起同胞愛國之念，而愛護此國貨。況此香烟制法，選用國產煙葉。氣味香醇，吸之使人暢快，至外表之裝潢，尤非他種白稱國貨香烟所能及。宜乎交稱贊譽，人手一枝亦。吸愛國香烟，表示我愛國。中國南洋兄弟烟草有限公司出品。

1927年3月1日付の『国民日報』に掲載された「大長城香烟」の広告

注意注意。秦築長城以禦匈奴。為吾國曆史上一大紀念。至今世界驚為偉績。此煙即取長城為名。其香醇洵駕舶來品上，願諸君吸此國貨。毋忘神州最著之宏工焉。此煙品質甚佳。香醇可口。氣味芬芳。外表之裝潢。尤其餘事。馳名十載。遠近鹹知。以長城而禦外貨。保塞漏卮。愛國同胞吸之。吾國利源。其若長城之鞏固乎。中國南洋兄弟烟草公司出品。

1928年4月8日に『国民日報』に掲載された「愛國香烟」の広告

愛國之心人皆有之。愛國香烟請當試之。南洋烟草公司制品。吉包換贈品。吉包五十個換雙美人圖美術畫一張。吉包二百個可換四副頭美術畫一套。兌換處本公司及本埠代各代理。

1928年4月9日付の『国民日報』に掲載された「民眾牌香烟」の広告

民眾牌。革命的民眾聯合起來請吸民眾牌香烟，廉價物美每包五丁。各家煙攤均有出售。中國南洋兄弟烟草有限公司出品。

1930年8月8日付の『國民日報』に掲載された「愛國香煙」の広告

革命之母。總理說。‘華僑為革命之母’。因為僑胞遠適異國。而愛護祖國之熱誠。有加無已。而振興國貨。增加祖國生產。我們僑胞仍負有莫大之責任也。現在已入調政之時期。則我們僑胞應該在海外或祖國內地圖謀絕大之企業。以增加生產。應該於一呼一吸之微末紙煙。必須另有推銷國貨之決心。以扶助生產之製造力。方不負‘革命之母’四個金色大字。僑胞如吸食紙煙者乎。何者為精良之國貨香煙。當認真分別。精良之國貨香煙。只有南洋兄弟煙草公司一家出品。居家旅行。自吸敬客。有白金龍。有梅蘭芳。價廉物美。煙味香醇。念念表示。不忘祖國。有‘愛國’香煙。南洋兄弟煙草公司出品。

以上の煙草広告は、すべて南洋兄弟煙草会社より『國民日報』に掲載された。煙草の命名は主に「愛國」であり、「愛護國貨」・「國產香煙」・「保塞漏卮」・「連合革命」・「振興國貨」などがあった²¹⁾。その後、南洋兄弟煙草会社は1909年に英米系の会社の競争に負けて閉鎖された。辛亥革命後に、南洋兄弟煙草会社は國貨運動の契機を掴み再開し、迅速に中国全土で人気の煙草品になった。1919年に、南洋兄弟煙草会社は英米系の会社と対抗するため、上海・香港で多数の工場を開設した。

⑥1927年3月9日付の『國民日報』に広告「蔣介石牌香煙」が掲載された。

上海裕興公司為杜塞漏故提倡國貨起見，采辦上等國產精緻紅色蔣介石牌香煙，氣味香純，堪稱佳品。深合衛生，愛國同胞請國吸煙方知言之不謬。諸君吸煙，保惜煙殼。崇拜黨軍領袖，同胞請吸國煙。三千吉包可換金手鏢一只。一千吉包可換中國四季布一疋花毛巾四條。五百吉包可換德國美人標香水一罐花毛巾二條。二百吉包可換德國美人標香水一罐。暹京公司廊馬路總經理高裕發。

当時にタイ国で販売していた煙草は、南洋兄弟煙草会社のみならず、他の会社も上海・香港産の煙草の代理をしている。暹京会社は華商が投資し、各種類の國貨を代理して、さらに上海裕興会社の蔣介石牌煙草も販売した。広告は商品の販売のために、煙草の紙箱で礼品と交換した。時代の制約のため流行していた商品は現代の人々から見れば、興味深い広告と思われる。

⑦1928年8月9日付の『國民日報』に「陸魂靈仁丹」の広告が掲載された。

陸魂靈仁丹。中華國產，提倡國貨。劣貨抵制，國貨提倡。熱血同胞，盡力而為。制其死命，萬眾齊心。不忍我國金錢流於異域。喚起中原豪傑共挽利權。東興香煙。「陸軍牌」・「中山牌」・「猴子牌」是本略嵩越路炳利豐公司代理。好了！好了！國貨振興，利權就不外溢了。

1905年に日本の森下仁丹株式会社が仁丹を発売した。日本産の仁丹は、有効効果や日本会社の宣伝が速やかにしたことで日本の人気商品や家庭必備品となった。それに対し、広州の会社は模倣品の仁丹も

21) 石維有『戦後泰國華商發展史研究』、廈門大學南洋院博士論文、2005年。

生産したが、薬効など日本産の仁丹と比べられないため、しばらくして閉鎖した。

⑧1930年12月9日に『晨鐘日報』に「鐘標制鞋」の広告が掲載されている。

母親名愛國，開言訓子女。國貨有鐘標，買鞋須認此。妹妹聞母訓，連聲應唯唯。地下小弟弟，見鐘大歡喜。更有好哥哥，兩手一齊舉。普告天下人，教兒須及早。愛國如此婦，方合為母道。國貨能振興，國家自然好。陳嘉庚公司廣告部制。

1930年12月15日に『晨鐘日報』に「鐘標制鞋」の広告が掲載された。

鐘標。教師語學生，國貨倡宜謹。你們的靴鞋，是何家出品。學生答教師，愛國久承訓。所有皆鐘標，舶來未敢問。暹羅總代理處。

これらの広告は、すべて1930年12月に同じ新聞に掲載された。「鐘標」靴は陳嘉庚会社のタイ支社が代理し、広告から見れば、「鐘標」靴は中国産の商品と考える。広告は教師と学生の対話や両親と子供の対話を通じて、「鐘標」靴を宣伝した。陳嘉庚会社の創始者である陳嘉庚は有名な愛国企業家であり、南洋において高い名誉を得ていた²²⁾。陳嘉庚会社広告部が作った広告は華僑が中国商品を愛用する特性によって商品を宣伝した。

⑨1930年12月29日に『晨鐘日報』に「掃帚」の広告が掲載された。

上海南陽甲等掃汶。君注意國貨來了，欲救中國須用國貨。本規特色。原料高尚。去垢神速。堅硬耐用。永久不縮。氣味純正。定價公平。上海南陽廠製造。

「掃汶」とは、現在の石鹼である。当時、タイ国で販売された中国商品は、伝統的な煙草・薬酒を除いて上海産の石鹼もタイ国で発売された。広告は石鹼の清潔な特性を宣伝したのみならず、「上海産であり、中国を助けたければ中国商品を選ぶべきだ」とも宣伝した。

⑩1932年3月24日に『晨鐘日報』に掲載された「金雞嘜呂宋煙」の広告によれば、

國難當頭 留心國貨。挽回外溢利權。扶助中國實業。國民天職其庶幾乎？‘金雞嘜呂宋煙’完全華人資本華人製造，為中國有名實業之一。當此國難臨頭，諸君不欲吸煙則已苟欲吸煙。拾‘金雞嘜呂宋煙’而外將複奚求蓋吸‘金雞嘜呂宋煙’不獨足以表示熱心國貨，且能辟瘴消痰，有益衛生。其吉包又可換新裝美麗美人月份牌，一舉數善。諸君何樂而不為。金雞嘜呂宋煙吉包四十個或實鼎嘜呂宋煙吉包六十個均可換新裝美麗美人月份牌一副。期限：二月十五號起～三月十五號止。元昌煙莊謹啓。

とあるように、「金雞嘜呂宋煙」煙草は呂宋（フィリピン）産であったが、華僑が投資した工場で生産さ

22) 吳雲龍『14—19世紀暹羅華人的經貿發展研究』、臺灣成功人學歷史研究所碩士論文、2002年。

れたと宣伝した。売り上げを上げるため、代理商の元昌烟庄は煙草箱で礼品を交換できる活動を進めた。この広告により「中国商品を買ったら中国を助けられる」と言う思想は、タイ国に居住している華人の常識になったと考える。これは「中国産商品」を強調していたためと思われる。

(2) 誇張の広告用語

当時の広告用語の特徴は、「愛国救国」の標語を宣伝した以外に、広告語の使い方も興味深い。直接に当時の華人の用語習慣の反応と考えられる。当時の広告はよく対話、冗談などを用いて自社の商品を宣伝していた。

①1927年1月26日付の『中華民報』に薬酒の広告が掲載された。

薬酒。三等兵先生，請你停住片刻罷，你的軀體、何以肥胖壯大，與常人異，究你何修而得此呢？哦，我何曾修得此，我在此生，不過常常飲那‘紐摩鑿春奔’的補藥酒就是了。暹京鐵橋四角德恒裕本藥局謹啓。

右図のように、この薬酒は暹京鉄橋四角德恒裕本藥局が掲載した。この薬局は、タイ国において有名な華商薬局であり、広告は質問と回答の方法や面白い図絵で読者を引き付けた。

②1927年1月18日付の『中華民報』に、「安住蚊烟香」の広告が掲載された。

安住蚊烟香。世界第一名産。安住蚊煙香，蚊見逃慌慌，周夜不用帳，包睡到天亮。總工廠 有限公司安住大藥房。盤穀總經理 金南公司同啓。

この蚊線香の広告は安住大藥房が掲載した。広告は排比文に通じて、蚊線香の利点を読者に伝えた。

③1927年3月6日付きの『中華民報』に掲載された「電光標洗綢皂」広告

電光標洗綢皂。專洗各種絲織品，有驚人之功效，具有六大優點。此皂質料純潔，毫無雜質混合。此皂城質極淡，保無損壞物料之患。此皂性質柔軟，有漂白精煉絲光之功。此皂洗滌白色軟而絲織衣物，確能光彩鮮明，永無變黃之弊。各種絲織品棉織品，用此皂精煉，可節省漂白粉四分之一。呢絨衣服，用普通肥皂洗滌，定然易於腐爛殘廢，損失頗大，若用電光標洗綢皂，不特意去油膩污垢，確免腐爛之弊，且能潔淨有光。此皂定價低廉，極宜於家庭工廠之用，每包附有仿單一張，詳載各種功效用法等。上海中南貿易公司謹啓總公司 上海 分公司。

1927年10月19日付の『中華民報』に掲載された「風扇牌毛巾」広告



面巾中之大王——風扇牌毛巾。潔白如雪，柔軟若絮。風扇牌面巾乃係選用上等原料，用機器製造，經化學方法消毒漂白，實為最合衛生之面巾！風扇牌面巾料重質軟，確能經久耐用，用此一條，足抵普通面巾三條，一經試用，當知所言不虛。此種優美之衛生面巾，自用則爽身適體，送人更永留紀念。上海中南貿易公司運行謹啓。

以上の石鹼と毛布の広告は、全て上海中南貿易会社が製作した。広告語は、「中国産」を強調はしていないが、主に商品の利点を宣伝していた。石鹼の広告は六つの利点があり、石鹼の質が良く、漂白も良く、洗濯類が傷まない、石鹼の量が少ない、洗濯したものに光沢があり、衣料の防虫にも効能があると宣伝している。

毛布の広告は、化学的漂白、耐久年数が他の製品より三倍も長く、毛布が柔らかくなるなどの特徴を説明していた。

④1927年10月1日付の『中華民報』に「天降落大雪奇聞」の広告が掲載された。

有一神經老，向感覺子曰：今年天氣寒的早，恐怕天將落大雪，奈何！感覺子曰：你真是神經過敏，我一講明白，你就不怕，現在力察旺洋行，辦到很多新式的衛生衣，羊毛衫，冷絨帽，駝絨被，金山氈，頸帶，手襪，一切禦寒貨物，應有盡有，實在齊備，因為該行直接辦來的寒貨，價格也格外便宜。你隨便去買一樣來防備，作算天就落大雪，凍人欲死的時候，都可以不怕，你還怕什麼？神經感覺說話時，適一有心人從旁大聲高呼曰不錯，不錯！這暇奇聞中的事實，大可注意，莫作笑談就是。

この下着の広告は、「神經老」と「感覺子」の二人の対話形式で愉快的対話によって読者を引き寄せた。広告の中心は下着を販売することであるが、広告内容は、「天降落大雪奇聞」すなわち「雪が降りそう！」として、亜熱帯のタイ国に居住する読者に、下着の必要性を喚起した広告となっていた。

⑤1927年12月23日付の『中華民報』に「飛人牌香烟」の広告が掲載された。

注意大贈品，價廉物美，氣味芳香。包内有幻術照片贈品一張，上海大東煙草有限公司出品。暹羅同和棧總經理。飛人牌香煙，飛人牌香煙氣味香純煙枝雅潔最合適衛生，請祈試吸。上海大有煙草公司出品。請僑胞吸上等過火照相牌香煙，包内有正米紙女明星照相贈品一張，工作之暇吸照相拍香煙親女明星芳容，精神上當得無窮之安慰也。煙絲金黃，氣味香純，包内贈品，僑胞請吸。海昌興煙草股份有限公司出品。

飛人牌煙草と照相牌煙草は、上海大有煙草公司及海昌興煙草股份公司で生産された。宣伝の方法は景品を贈る以外に最も衛生的であるという誇張した広告語も使った。

煙草一箱を購入すると、有名な女優の写真が貰え、その写真を見てリラックス出来るなどの内容で購入者の拡大を計ったのであった。

四、おわりに

20世紀初期のタイ国において華僑華人による社団、商会などが多数出現し、タイ国経済の重要な役割を担っていた。とくに華人の工商業社団は、経済貿易を保護、推進するために成立した経済性民間団体となった²³⁾。彼らは、上海産・香港産の商品を大量にタイ国へ輸入し販売した。さらに、これらの商会は華人教育を発展²⁴⁾させたのであった。

タイ国にもたらされた中国上海産や香港産の商品は、タイ国輸入額の7割を占め、ヨーロッパの舶来品の独占的な地位を崩壊させた。輸入された主要品は、主に中国の軽工業品であり、中国の伝統的な漢方薬であった。この時期の広告宣伝は主に「国貨」・「救国」等の時代的特徴が見える語彙が愛用・多用された。

そのほか、タイ国における中国商品の販路の拡大は、商品広告業の発展を促進し、同時に当時の華人新聞業も応援した。華字新聞は華人経済の発展を促進したのみならず、中国とタイ華人の距離を縮め、華人社会において重要な知識の情報源になった。

以上のように、当時のタイ国における華字新聞に掲載された中国商品の広告は、時代的特性を反映していたと言える。20世紀初期においても中国の半植民地化が終息せず、中国国内外の有志者等は、中国を助けるために革命の道へ邁進した。そのために中国のみならず、海外での民主自由の思想、運動を展開したのであった。

他方、中国国内外において次々と国貨運動が展開されて行った。上記に掲げたようにタイ国で販売された中国商品の殆どが、購入者に「救国」の思想を植えつけるような心理作用を利用した広告を展開していたのであった。

当時のタイ国在住の多数の華人は教育水準が低く、科学的知識が乏しかった。そこで多くの華字新聞は広告において宣伝の語彙を使用する際には、誇張表現や絵画表現などの方法を多用したのであったと言えるであろう。

23) 須山卓、市川信愛『華僑社会の特質と帮派：その歴史の変容過程の研究』、長崎大学東南アジア研究所、1976年6月。

24) 王竹敏「20世紀前半のタイ国華字新聞に見る華人教育」、『或問』第24号、2013年12月、83-96頁。